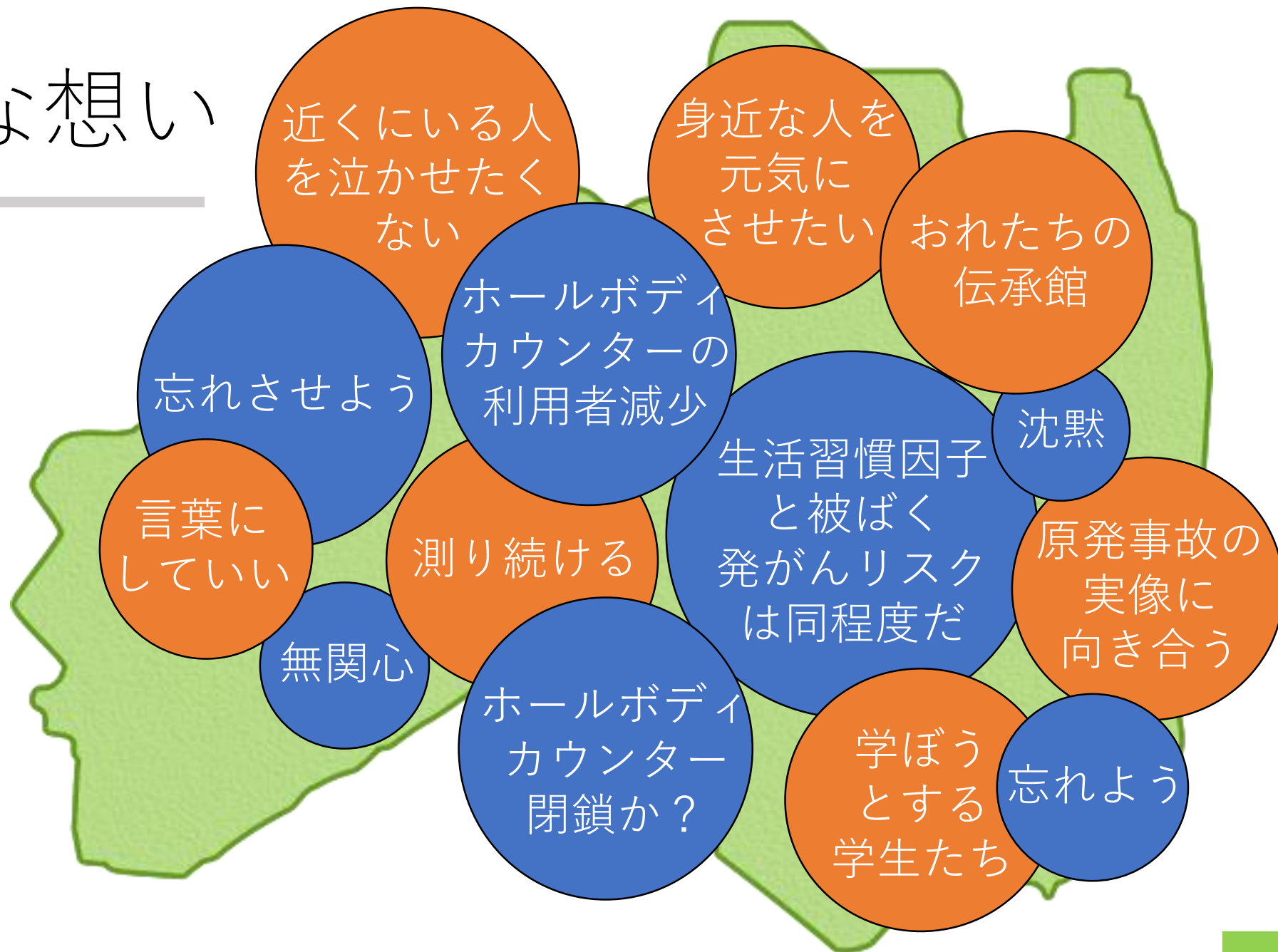


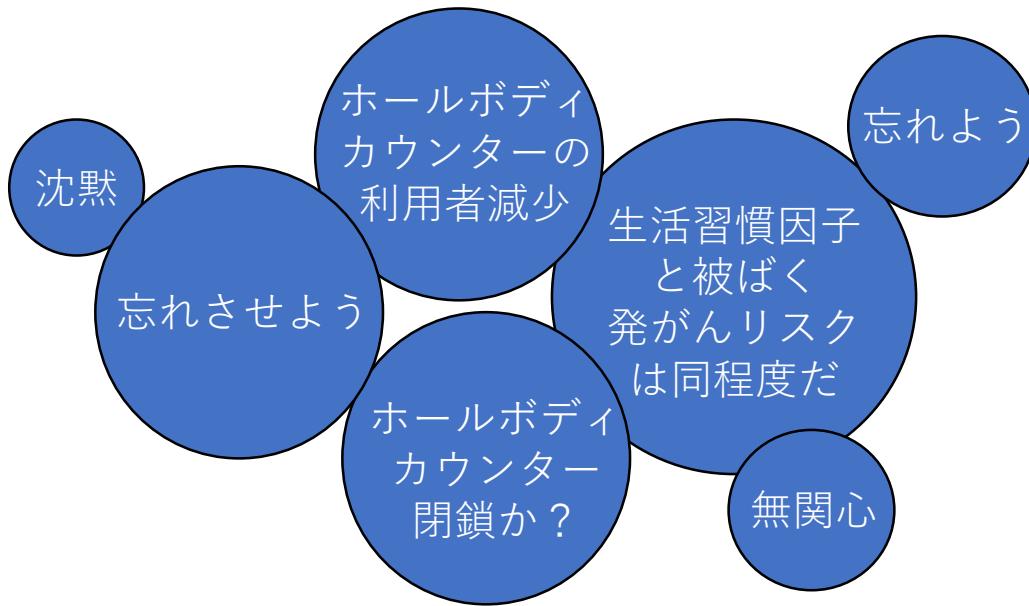
福島訪問 ～福島の混沌～

参加日程：2023年9月4日(月)～9月6日(水)

バラバラな想い



忘れさせよう



◎ホールボディカウンター

- 利用者は減少傾向にある
- 現在は水曜と土日のみの稼働となっている
- 市からの改修費がもらえなくなった

◎リスクミ誌による発がんリスクの説明

- 飯舘村リスクミ誌の総集編（[監修] 飯舘村支援 学際検討委員会）に記載されている
- 内閣官房低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ報告書の内容が引用されている
- 自分で制御することが可能な生活習慣因子と、したくてしたわけじゃない被ばくのリスクを並べて比較している

しかし . . .

帰還困難区域の取り残されたままの風景
避難解除後もなかなか住民が戻らない場所
測定すれば出てくる原発由来の放射性物質 等



どれもが原発事故をなかったことにはしてくれない

向き合おう

◎関心をもつ大学生の姿

- ふたばいんふおでワークショップをしていた
- 知ろう、学ぼうとする同年代の姿があった

◎原発事故の実像

- 伊藤さんのお話で必ず出てくる言葉である
- 何もしなければ矮小化されてしまう
- 現在も測定を続けている

◎おれたちの伝承館

- 恐ろしさ、悔しさ、やるせなさ・・・そしてそれをみんなに伝えたい、忘れないでほしいという想いが伝わった
- 無駄な説明がなく、そのアートから自分で考えることができるような余白もある



まとめ

「忘れる」＝人間がもつ防衛本能

しかし、すべてのことに見ないふり、気が付かないふり、さらには無関心になってしまうのは違う

起きてしまった原発事故、向き合うべき過去や事実から目を背けて忘れ去った先にあるのは復興とは言えない

未来に、前に進むために現実に向き合おうとしている人たちのエネルギーがもっと広がっていきますように・・・